

地域で育つ・育てる

～地域施設における社会福祉教育と福祉人材育成～

★地域における福祉人材育成

人間福祉学科では、社会福祉士国家試験受験資格取得のために大学近隣、親交のある福祉施設・機関にて実習を実施します。その他演習でも地域施設で連携授業を行っており、地域での福祉人材育成といった視点から、地域施設との教育的連携が担っている重要な役割と地域における福祉文化の創造のあり方について注目しました。地域での丁寧な人材育成活動は次世代の地域人材育成にもつながり、地域の福祉文化の創造と発展に貢献していくことが期待できます。

★唐戸早紀さん 特別養護老人ホーム合掌苑内定

実習前までは高齢者分野の仕事への自信もなく意欲的でない私に(実習の)担当者の方から、この分野の仕事に向いていると思うと言って頂いたことから実習に臨む姿勢が少し変わりました。施設の高齢者の方々から褒めて頂き自信が持て、高齢者や地域住民と関わる仕事に関心を持ちました。合掌苑の職員の方々の利用者さんへの関わり方や良好な雰囲気を実習を通じて知ることができ、合掌苑で働きたいと思いました。

★陶山慎治様 社会福祉法人悠々会理事長

要介護状態にある方に必要な支援をする事は勿論ですが、すべての高齢者が地域社会の中で、ひとりひとりにあった役割を担える事も悠々会の考え方として大切にしてきました。悠々会が大学と連携しながら取り組んで行きたい事は、一定の支払いをすれば高齢者が自由にキャンパスを使える仕組みづくりです。学生と共に講義に参加し、学食で共に食事を食べ、園庭で共に語らう。学生は人生の先輩から多くの事を学べるでしょう。また高齢者は学生から多くの元気をもらえるでしょう。



- ◆担当教員 西口 守 教授
朝倉 和子 助教
- ◆パートナー 社会福祉法人悠々会
社会福祉法人天寿園会 椿
- ◆実施期間 2016年8月～